

懸命のたすきリレーを展開



第54回徳島駅伝の開会式が1月3日に行われ、4日から6日までは県内一周コース(43区間257.3キロ)での熱戦が繰り広げられました。3日間にわたり、三好市チームも懸命のたすきリレーが展開されました。

実業団選手が一人もいない中で個人個人が日々の練習を重ね、選手全員で全43区間を走り抜きました。総合成績は12位と、一般選手、高校生、中学生ともに健闘し、特に中学生は初出場の選手も多く今後の活躍に期待が持てる3日間でした。

親と子の気持ちを伝えあう



1月19日、山城公民館において、山城町PTA家庭教育合同研修会が開催され、PTAはじめ教職員が一堂に会し、家庭教育について研修しました。

講師に親業訓練協会インストラクター毛利律子先生(愛媛県西条市)を招いて、「親と子の気持ちを伝えあう」と題して子供の気持ち、コミュニケーションの取り方など家庭における親子の会話の取り方などをロールプレイを交えて研修しました。出席した100人ほどの人たちは、熱心に先生の言葉を聞いておりました。

三好高校見学研修



1月28日、徳島県環境・エネルギー教育支援事業行事の一環として、三好高校の生物資源類1年生、34名を対象にバイオマスツアー真庭(岡山県真庭市)を実施しました。

真庭市では豊富な森林資源を背景に、木質バイオマスエネルギーを地域のエネルギー源として積極的に活用しているモデル地域です。研修では、木くずを利用した火力発電施設や木質バイオエタノール製造実証プラントを見学し、化石燃料に頼らない持続可能なエネルギーについて学習を深めました。

叙勲が伝達されました



教員として情操教育の深化に優れた手腕を発揮して、三好郡教育の向上発展に大きく寄与し、平成19年11月9日に亡くなられた、新居 普さん(池田町州津藤ノ井・86歳)が瑞宝双光章を受章され、ご遺族の方に伝達されました。

新居さんは、昭和14年馬路尋常高等小学校訓導に着任後、県内の公立学校教諭、教頭、校長を歴任し、箸蔵小学校長を最後に退職されました。新居さんの生前の功績に敬意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

山下静子さんが100歳



1月12日、山下静子さん(池田町イケモナミ)が100歳のお誕生日を迎えられました。

山下さんは現在、市内の病院に入院されており、この日は市や県、親族の方々などから100歳到達のお祝いを受けました。山下さんは33歳の時に夫を戦争で亡くされ、それから長い間1人で子育てをし、家庭を支えてきました。ご家族の方も大変感謝されているようで、100歳到達を心から祝福されていました。これからもお元気で過ごしてください。

田岡ハルエさんが100歳



1月12日、田岡ハルエさん(池田町サラダ)が100歳のお誕生日を迎えられました。

この日は自宅で市や県、親族の方々などから100歳到達のお祝いを受けました。田岡さんはとても健康で、自分で外出できるので、天気の良い日は近所を散歩したり、演歌など歌ったりすることを趣味としているようです。長寿の秘訣を尋ねたところ、良く食べ、良く寝ることで、肉類は控え、お酒は飲まないそうです。これからもお元気で過ごしてください。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、
どんなことでもいいので耳より
な情報をお知らせください。

三好市役所 総務課広報係
☎0883-72-7600

市民の期待に応えます

三好市の出初め式が1月13日、三好市池田総合体育館で行われました。56分団832人が参加しました。俵市長が「三好市は非常に複雑な地形だが、消防団を柱に地域力を向上させることが不可欠」とあいさつし、岸上連合消防団長が「全市民が平穏に暮らせることが、防火防災活動に携わる者として心からの願いである」と訓示し、万歳と火の用心を三唱しました。

また、池田町消防団第1分団が諏訪公園(池田町ウエノ)で、約110年の伝統を持つという「たる回し」を披露。防火ずきんと法被に身を包んだ団員6人が3人ずつ二手に分かれて同時に放水すると、縄で縛った2つの樽が豪快に回りながら立ち上がりました。華麗なたる回しの技に見物客から盛んな歓声と拍手が送られました。



白熱した試合を展開

第4回国際雪合戦四国大会が1月26・27日、いやしの温泉郷グラウンド(東祖谷菅生)で開かれました。試合は、それぞれ90個の持ち球でより多くの敵選手に当てるか、相手陣内のフラッグを奪えば勝ちとなります。白熱したプレーのたびに、会場から歓声と拍手が沸き起こっていました。

一般の部は高松クラッシャーラン(香川県高松市)、ジュニアの部は落合ホワイトサンダーズ(三好市東祖谷)が優勝しました。また、高松クラッシャーランは、北海道で開かれる全国大会に四国代表として出場します。

